

名古屋大学大学院生命農学研究科  
動物科学専攻 動物栄養科学研究室 助教公募要領

|   |         |  |
|---|---------|--|
| 1 | 募 集 件 名 | 助教（テニュアトラック）の公募  |
| 2 | 所 属     | 大学院生命農学研究科動物科学専攻動物栄養科学研究室  |
| 3 | 募 集 内 容 | <p>[職務内容（業務内容、担当科目等）]</p> <p>名古屋大学大学院生命農学研究科では、生命科学の基盤の拡充、生物機能・生物資源の高度利用、生命共生環境の創出・保全、および持続的生物生産と先端生命科学の技術開発を通して環境に調和した人類の発展を目指す総合的な学問分野として「生命農学」を位置づけ、創造的な研究活動によって真理を探究し、生命農学に関して世界屈指の知的資産形成・蓄積と継承に貢献することを使命としています。</p> <p>動物科学専攻においては、先端的な基礎研究を通じて、動物の持つ多様な機能を分子・細胞から個体・集団レベルで統合的に解明し、持続的な食料生産と健康の向上に貢献することを目指した動物科学に関する教育と研究を行なっています。その中で動物栄養科学研究室は、動物栄養学に関連する教育を担当し、動物における栄養素の生理機能や代謝機構の解明を通して、動物生産の量的および質的な向上を目指した研究と教育を行っています。</p> <p>本助教（テニュアトラック）公募では、家畜、家禽、および実験動物（脊椎動物）などを対象とした栄養生理学、代謝制御学、飼養学などの分野において、優れた研究成果を挙げつつあり、当該研究室の研究の発展に貢献できる人物が望まれます。さらに、当該専門分野の学部・大学院教育や研究指導に熱意を持ってあたり、本研究科の研究教育の発展に貢献するとともに管理運営に責任感と協調性をもってあたる人が望まれます。</p> <p><b>【担当する業務】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・動物栄養学に関する先端的な基礎研究ならびに応用研究</li> <li>・大学院生命農学研究科および農学部における教育</li> <li>・大学院生命農学研究科および農学部の管理運営に関連する業務</li> </ul> <p>&lt;担当授業科目&gt;</p> <p>(1) 大学院</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・博士前期課程：動物生理学特論Ⅱ（分担）、生命農学演習、修士論文研究など</li> <li>・博士後期課程：博士論文研究</li> </ul> <p>(2) 学部</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・動物栄養学、動物生理学2（分担）、資源生物科学基盤実験実習（分担）、資源生物科学実習（分担）、専門セミナー、卒業論文研究など</li> </ul> <p>※本募集では、業績(研究業績、教育業績、社会的貢献、人物を含む。)の評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用します。</p> |

|   |              |  |                      |
|---|--------------|--|----------------------|
|   |              | [勤務地]  | 愛知県名古屋市千種区不老町        |
|   |              | [募集人員]   | 助教（テニュアトラック）・1名      |
|   |              | [着任時期]   | 2023年4月1日以降早い時期（応相談） |
| 4 | 募集研究分野       | 大分類  | 農学（畜産学）、動物生命科学       |
|   |              | 小分類  | 動物生産科学、栄養・飼養学        |
| 5 | 勤務形態         | 常勤（テニュアトラック）<br>任期5年 ※本学テニュアトラック制度により、審査の上、合格した場合はテニュアを付与  |                      |
| 6 | 応募資格         | [必要な特定分野の資格・条件（学位などを含む）・専門性等の詳細]<br>・博士学位を有している者、または着任までに取得予定の者<br>・動物栄養学およびその関連分野の研究業績を有する者<br>・大学院と学部における教育と研究指導に、熱意と責任感、協調性を持って取り組むことができる者  |                      |
| 7 | 待遇           | [採用後の待遇（給与、勤務時間、休日、雇用期間、保険等）]<br>・東海国立大学機構職員就業規則の定めるところによる。<br><a href="https://education.joureikun.jp/thers_ac/act/frame/frame110010928.htm">https://education.joureikun.jp/thers_ac/act/frame/frame110010928.htm</a><br>・給与は、東海国立大学機構名古屋大学年俸制適用教員給与規程による年俸制<br><a href="https://education.joureikun.jp/thers_ac/act/frame/frame110001585.htm">https://education.joureikun.jp/thers_ac/act/frame/frame110001585.htm</a>               |                      |
| 8 | 応募期間         | 2022年10月27日～2022年12月12日（日本時間24:00）必着   |                      |
| 9 | 応募・選考結果通知連絡先 | [応募方法（提出書類の送付先）]<br>(1) 応募する旨を明記した書類（応募者の連絡先、電話番号、電子メールアドレス等を含む）<br>(2) 履歴書（様式自由、年号は西暦で表記）<br>(3) 研究業績リスト（原著論文、総説、著書、特許、その他に分類し、番号を付けてください。原著論文の責任著者に*印を付けてください。）<br>(4) 現在までの研究の概要（1,000字程度、研究業績リスト番号を引用のこと）<br>(5) 今後の研究に関する計画と抱負（1,000字程度）<br>(6) 大学院・学部における教育に対する考え方と抱負（1,000字程度）<br>(7) 過去10年間の研究費獲得状況（科学研究費補助金等の競争的資金について、代表と分担に分けて、名称と金額を明記のこと）<br>(8) 大学における社会連携、国際協働についての考え（500字程度）<br>(9) その他（教育実績、学協会関連活動、社会貢献など選考の参考になる事項） |                      |

|    |     |   |
|----|-----|---|
|    |     | <p>(10) 類型該当性の自己申告書と類型該当判断のフローチャート<br/> (<a href="https://www.agr.nagoya-u.ac.jp/general/fefta.html">https://www.agr.nagoya-u.ac.jp/general/fefta.html</a> から様式をダウンロードして作成すること。「10. その他」欄を参照のこと。)</p> <p>(11) 応募者について照会できる方2名の氏名、連絡先、電話番号、電子メールアドレス</p> <p>(12) 論文等のPDFファイル（主要なもの5編以内）</p> <p>[書類送付先]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上記の提出書類(1)～(11)を1つのPDFファイルにまとめ、主要論文のPDFファイル(12)とともにフォルダに入れ、圧縮(ZIP形式)フォルダにしたものを、以下のアドレスに添付で送信してください。</li> <li>・メールのタイトルは「動物栄養科学研究室助教応募書類(氏名)」としてください。</li> <li>・ファイルサイズは全体で60MBを超えないようにしてください。やむをえず超えてしまう場合は、複数のメールに分割し、その旨を明記して下さい。</li> <li>・応募締め切りの1週間後までに応募書類を受領した旨の連絡(電子メール)がない場合には、委員長までお問い合わせください。</li> </ul> <p>書類の送付先アドレス(電子メール): kohbo-an[at]agr.nagoya-u.ac.jp<br/> ※メールアドレスの[at]を@に置き換えてください。</p> <p>[問い合わせ先]</p> <p>名古屋大学大学院生命農学研究科<br/> 動物科学専攻動物栄養科学研究室助教選考委員会委員長<br/> 村井篤嗣<br/> 電子メール: kohbo-an[at]agr.nagoya-u.ac.jp<br/> ※メールアドレスの[at]を@に置き換えてください。<br/> ※その他の問合せについても、委員長宛に電子メールにてお願いします。</p> <p>[選考内容(選考方法、採否の決定)]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・書類選考の上、面接を実施することがあります。<br/> なお、対面にて面接を実施する場合の交通費は自己負担とします。</li> <li>・採否の結果については、原則、電子メールで連絡します。</li> </ul> |
| 10 | その他 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・名古屋大学は業績(研究業績、教育業績、社会的貢献、人物を含む。)の評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用します。<br/> ※名古屋大学の取り組みについては下記をご覧ください。<br/> <a href="http://www.kyodo-sankaku.provost.nagoya-u.ac.jp/">http://www.kyodo-sankaku.provost.nagoya-u.ac.jp/</a></li> </ul>   |

|  |  |  |
|--|--|--|
|  |  | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 2021 年 11 月「外国為替及び外国貿易法」(外為法)に基づく「みなし輸出」における管理対象の明確化に伴い、大学・研究機関における教職員への機微技術の提供の一部が外為法の管理対象となりました。これに伴い、本公募に応募の際、「類型該当判断のフローチャート」に基づく「類型該当性の自己申告書」の提出が必要となります。また、採用時には「誓約書」の提出が必要となります。</li><li>・ 提出された書類については、本選考以外の目的には使用しません。</li><li>・ 応募書類は、本選考委員会が責任を持って処分します。</li></ul> |
|--|--|--|